

平成18年度中間決算説明資料

平成18年度中間決算の概要

1. 新日鉱ホールディングス連結決算の概要
2. セグメント別情報
 - <1>石油（ジャパンエナジーグループ）
 - <2>資源・金属（日鉱金属グループ）
 - 資源・金属カンパニーグループ
 - 電子材料カンパニーグループ
 - 金属加工カンパニーグループ

平成18年度新日鉱ホールディングス連結業績予想

1. 前期との差
2. セグメント別情報
 - <1>石油（ジャパンエナジーグループ）
 - <2>金属（日鉱金属グループ）
 - 資源・金属カンパニーグループ
 - 電子材料カンパニーグループ
 - 金属加工カンパニーグループ
3. 前回発表との差
 - <1>18/上期予想差
 - <2>18年度予想差

連結バランスシート，キャッシュフロー，指標等

1. 連結バランスシート
2. 連結キャッシュ・フロー
3. 配当金
4. 連結有利子負債残高の推移
5. D E レシオ推移
6. 連結ベース設備投資額・減価償却費
7. セグメント別連結人員の推移

新日鉱ホールディングス株式会社
平成18年11月9日

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

．平成18年度中間決算の概要

18年度中間期実績のセグメント開示については、金属系の3社統合(18年4月1日スタート)等を加味し、セグメント区分を見直した。また、18年度中間期対17年度中間期比較での17年度中間期についても変更後のセグメント区分とし組替えを行った。

1．新日鉱ホールディングス連結決算の概要

(単位：億円)

	18/上期	17/上期	増減(18/上-17/上)
売上高	18,075	13,651	(○) 4,424
営業利益	755	634	(○) 121
営業外損益	401	197	(○) 204
経常利益	1,156	831	(○) 325
特別損益	84	50	(○) 34
法人税等	378	287	(×) 91
少数株主利益	137	69	(×) 67
当期純利益	725	525	(○) 201

(1) 対象会社

連結子会社 114社(増加6社, 減少4社)
持分法適用会社 15社(増加-社, 減少-社)

(2) 経常利益 1,156億円の内訳

営業利益 755億円

・石油	384億円
・金属	356億円
（資源・金属カンパニーグループ	249億円
電子材料カンパニーグループ	57億円
金属加工カンパニーグループ	46億円
調整	3億円
・その他	15億円
計	755億円

営業外損益 401億円

・受取利息及び配当金	24億円
・負ののれん償却額	9億円
・持分法による投資利益	413億円
・支払利息	66億円
・その他	21億円
計	401億円

(3) 特別損益 84億円の内訳

・投資有価証券売却益	136億円
・固定資産売却益	6億円
・固定資産除却損	11億円
・減損損失	11億円
・遊休設備撤去工事引当金繰入額	34億円
・その他	2億円
計	84億円

(4) セグメント別業績

(単位：億円)

		18年度 上期	17年度 上期	増減 (18/上-17/上)
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	12,975	10,872	(○)2,102
	営業利益	384	421	(×) 37
	経常利益	417	415	(○) 2
金属 日鉱金属 グループ計	売上高	5,036	2,688	(○)2,348
	営業利益	356	196	(○) 160
	経常利益	705	379	(○) 326
資源・金属 カンパニー グループ	売上高	4,382	2,181	(○)2,200
	営業利益	249	127	(○) 123
	経常利益	601	315	(○) 286
電子材料 カンパニー グループ	売上高	646	474	(○) 172
	営業利益	57	51	() 6
	経常利益	51	43	() 7
金属加工 カンパニー グループ	売上高	351	231	(○) 120
	営業利益	46	24	(○) 22
	経常利益	49	26	(○) 24
(金属グループ 調整)	売上高	343	198	(×) 144
	営業利益	3	5	(○) 9
	経常利益	3	5	(○) 9
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	250	232	(○) 18
	営業利益	15	17	(×) 2
	経常利益	34	37	(×) 3
セグメント間消去	売上高	185	142	(×) 43
合 計	売上高	18,075	13,651	(○)4,424
	営業利益	755	634	(○) 121
	経常利益	1,156	831	(○) 325

* 17年度上期は新セグメントに組替えた。

(5) 諸元実績

		18年度 上期	17年度 上期	増減	
共通	為替レート(円/\$)	115	109	(+) 6	
石油 ジャパンエナジー グループ	原油FOB(\$/BBL)*	65.4	51.6	(+) 13.8	
	パラキリン市況(\$/t) ACP(実勢)	1,133	859	(+) 274	
金属 ・ 日鉱 金属 グループ	資源・金属 カンパニー グループ	銅価(¢/lb)	338	162	(+) 175
		電気銅販売量(千t/期・年)	308	302	(+) 6
電子材料 カンパニー グループ		電解銅箔販売量(t/月)	2,038	2,097	(-) 59
		圧延銅箔販売量(千m/月)	3,613	3,021	(+) 592
		ITOターゲット販売量(t/月)	25.9	24.2	(+) 1.7
金属加工 カンパニー グループ		伸銅品生産品販売量(千t/期)	20.0	16.8	(+) 3.2
		特殊鋼生産品販売量(千t/期)	2.5	1.9	(+) 0.6
		高機能材比率(%)	42%	41%	(+) 1%

*原油FOBは、ドバイスポットベース

2. セグメント別情報

< 1 > 石油 (ジャパンエナジーグループ)

(1) 業績

(単位 : 億円)

	18年度上期	17年度上期	増減
売上高	12,975	10,872	(○) 2,102
営業利益	384	421	(×) 37
経常利益	417	415	(○) 2

経常利益が前年同期比 () 2 億円増益となった要因

- ・在庫評価の影響 (×) 46 億円 (17/上 : 274 18/上 : 227)
- ・石化損益の改善 (○) 24 億円
- ・その他 (×) 15 億円 (エネルギーコストの増他)
- ・営業外損益の改善 (○) 39 億円 (為替差損益の改善, 持分法投資利益の増等)

(2) 燃料油販売数量

	一般販売数量 (内需) (単位 : 千 K L)			18 年度上期 伸び率
	18 年度 上期	17 年度 上期	増減	当社
揮発油	3,113	3,167	54	98.3%
ナフサ	1,759	1,950	191	90.2%
シット	322	322	-	100.1%
灯油	715	734	19	97.4%
軽油	2,084	2,185	101	95.4%
A 重油	1,235	1,282	47	96.4%
C 重油	939	1,261	322	74.4%
燃料油	10,167	10,902	735	93.3%
自揮中間	7,148	7,369	221	97.0%

(3) 当社グループの原油処理量(万KL)およびトッパー稼働率

		H18年度			H17年度				
		4-6	7-9	計	4-6	7-9	10-12	1-3	計
グループ 計	処理量	453	583	1,035	455	528	544	548	2,074
	稼働率	79%	98%	89%	81%	93%	94%	97%	91%
	対前年	100%	110%	105%	102%	112%	98%	101%	103%
内水島	処理量	294	297	591	197	269	279	290	1,036
	稼働率	99%	99%	99%	68%	92%	94%	99%	88%
	対前年	149%	110%	127%	69%	111%	95%	103%	94%
内鹿島	処理量	159	286	445	257	259	264	258	1,039
	稼働率	57%	98%	78%	94%	93%	95%	95%	94%
	対前年	62%	111%	86%	161%	113%	102%	98%	114%

グループ製油所の原油処理能力

ジャパンエナジー 水島製油所：205,200 バレル/日

鹿島石油 鹿島製油所：190,000 バレル/日(6/15～200,000 バレル/日)

< 2 > 金属(日鉱金属グループ)

カンパニー別業績

(単位：億円)

		18年度 上期	17年度 上期	増減 (18/上-17/上)
金 日 グ ル ー ブ 属 属 計	売上高	5,036	2,688	(○)2,348
	営業利益	356	196	(○) 160
	経常利益	705	379	(○) 326
資 源 ・ 金 属 カ ン パ ニ ー グ ル ー ブ	売上高	4,382	2,181	(○)2,200
	営業利益	249	127	(○) 123
	経常利益	601	315	(○) 286
電 子 材 料 カ ン パ ニ ー グ ル ー ブ	売上高	646	474	(○) 172
	営業利益	57	51	() 6
	経常利益	51	43	() 7
金 属 加 工 カ ン パ ニ ー グ ル ー ブ	売上高	351	231	(○) 120
	営業利益	46	24	(○) 22
	経常利益	49	26	(○) 24
(金属グループ 調整)	売上高	343	198	(×) 144
	営業利益	3	5	(○) 9
	経常利益	3	5	(○) 9

< 2 - > 資源・金属カンパニーグループ

(1) 業績

(単位 : 億円)

	18年度 上期	17年度 上期	増減
売上高	4,382	2,181	(○) 2,200
営業利益	249	127	(○) 123
経常利益	601	315	(○) 286

経常利益が前年同期比(○)286億円増益となった要因

- ・ 資源・金属カンパニー及び連結子会社 ()125億円
(レガリト^oツ^oエ^o外関連費用の新規発生はあるが、金属価格上昇、買鉱条件改善、為替円安等により増益)
- ・ 持分法投資損益 ()161億円(ミナス^oラブルス 98億円(銅価上昇等)他)

(2) 価格・販売量

		18年度 上期	17年度 上期	増減
価格	銅価(¢ / lb)	338	162	(+)175
	金(\$ / TOZ)	625	433	(+)192
	白金(\$ / TOZ)	1,200	883	(+)317
	パラジウム(\$ / TOZ)	335	189	(+)146
販売量	電気銅(千t)	308	302	(+) 6

< 2 - > 電子材料カンパニーグループ

(1) 業績

(単位：億円)

	18年度 上期	17年度 上期	増減
売上高	646	474	() 172
営業利益	57	51	() 6
経常利益	51	43	() 7

経常利益が前年同期比(○)7億円となった要因

営業利益 (○)6億円

- ・電解銅箔(○)34, 圧延銅箔(○)4, ターゲット材(×)34,
- 化合物半導体その他(○)5, 開発費等共通コスト(×)3

営業外損益 (○)1億円

- ・為替差損益(×)1, その他(○)2

(2) 電子材料製品別内訳

(単位：億円)

		18年度 上期	17年度 上期	増減
銅箔	売上高	245	174	(○) 71
	営業利益	33	5	(○) 38
ターゲット	売上高	321	244	(○) 77
	営業利益	26	60	(×) 34
化合物半導体他	売上高	80	56	(○) 24
	営業利益	2	4	(○) 2
合計	売上高	646	474	(○) 172
	営業利益	57	51	(○) 6

(注) 18年度から共通コストの配賦基準を変更しており, 17年上期実績についても基準変更後の数値で表示している。

< 2 - > 金属加工カンパニーグループ

(1) 業績

(単位 : 億円)

	1 8 年度 上期	1 7 年度 上期	増減
売 上 高	3 5 1	2 3 1	(○) 1 2 0
営 業 利 益	4 6	2 4	(○) 2 2
経 常 利 益	4 9	2 6	(○) 2 4

経常利益が前年同期比 (○) 2 4 億円となった要因

増販	(○) 1 6 億円 (りん青銅 (○) 6 , 圧延銅箔 (○) 5 , アパ - (○) 2 等)
銅価上昇	(○) 9 億円
日鉱宇進精密 (蘇州)	(×) 2 億円 (圧延部門本格操業開始等による固定費増)
その他	() 1 億円

(2) 製品別売上高

(単位 : 億円)

		1 8 年度 上期	1 7 年度 上期	増減	
精 密 圧 延 品	伸銅品	りん青銅	123	67	(○) 56
		コルソン合金	39	30	(○) 9
		圧延銅箔	39	24	(○) 15
		その他伸銅品	67	42	(○) 25
	特殊鋼	ステンレス製品	11	9	(○) 2
		高ニッケル合金	25	16	(○) 9
		その他特殊鋼	1	2	(×) 1
精密加工品		63	44	(○) 19	
内部取引等		17	3	(×) 14	
合 計		351	231	(○) 120	

平成18年度新日鉱ホールディングス連結業績予想

18年度予想のセグメント開示については、金属系の3社統合(18年4月1日スタート)等を加味し、セグメント区分を見直した。また、18年度対17年度比較での17年度についても変更後のセグメント区分とし組替えを行った。

1. 前年度との差

(1) 前提条件

			18年度			17年度					
			上期	下期	通期	上期	下期	通期			
共	通	為替レート(円/\$)	115	110	113	109	117	113			
石	油	原油FOB(\$/BBL)*	65.4	60.0	62.7	51.6	55.4	53.5			
		ロシア産市況(\$/t)ACP(実勢)	1,133	1,090	1,112	859	947	903			
金	属	資源・金属	銅価(¢/lb)	338	290	314	162	210	186		
		カンパニー	電気銅販売量(千t/期・年)	308	320	628	302	287	588		
日	鉱	金属	電子材料	電解銅箔販売量(t/月)	2,038	2,151	2,095	2,097	2,062	2,080	
			カンパニー	圧延銅箔販売量(千m/月)	3,613	4,500	4,057	3,021	4,566	3,794	
			グループ	ITOターゲット販売量(t/月)	25.9	40.5	33.2	24.2	28.0	26.1	
グ	ル	ー	プ	金属加工	伸銅品生産品販売量(千t/期)	20.0	19.7	39.7	16.8	19.6	36.4
				カンパニー	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	2.5	2.1	4.6	1.9	2.5	4.4
				グループ	高機能材比率(%)	42%	44%	43%	41%	45%	43%

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

(2) 業績予想

(単位: 億円)

	18年度			17年度			増減 (18年-17年)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	18,075	19,625	37,700	13,651	16,611	30,263	(○)7,437
営業利益	755	375	1,130	634	810	1,444	(×) 314
経常利益	1,156	694	1,850	831	1,056	1,887	(×) 37
当期純利益	725	375	1,100	525	444	969	() 131
売上高経常利益率	6.4%	3.5%	4.9%	6.1%	6.4%	6.2%	(×) 1.3%
1株当たり当期利益 円/株			118.7			113.9	() 4.8
(株数: 千株)			(926,994)			(847,047)	(+79,947)

(3)セグメント別業績予想

(単位：億円)

		18年度 予想			17年度 実績			増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	12,975	14,525	27,500	10,872	13,054	23,926	(○)2,102	()1,471	(○)3,574
	営業利益	384	136	520	421	545	966	(×) 37	(×) 409	(×) 446
	経常利益	417	143	560	415	554	970	() 2	(×) 411	(×) 410
金属 日鉱金属 グループ計	売上高	5,036	4,804	9,840	2,688	3,383	6,071	(○)2,348	(○)1,421	(○)3,769
	営業利益	356	219	575	196	234	430	() 160	(×) 14	(○) 145
	経常利益	705	515	1,220	379	450	828	(○) 326	(○) 65	(○) 392
資源・金属 カンパニー グループ	売上高	4,382	3,928	8,310	2,181	2,772	4,954	(○)2,200	(○)1,156	(○)3,356
	営業利益	249	159	408	127	144	271	(○) 123	(○) 15	(○) 138
	経常利益	601	470	1,071	315	367	682	(○) 286	() 103	(○) 389
電子材料 カンパニー グループ	売上高	646	794	1,440	474	589	1,063	(○) 172	(○) 205	(○) 377
	営業利益	57	60	117	51	61	112	() 6	(×) 1	() 5
	経常利益	51	45	96	43	53	96	() 7	(×) 8	(×) 1
金属加工 カンパニー グループ	売上高	351	359	710	231	296	528	(○) 120	() 63	(○) 182
	営業利益	46	35	81	24	35	59	(○) 22	-	(○) 22
	経常利益	49	35	84	26	36	62	(○) 24	(×) 1	(○) 23
(金属グル ープ調整)	売上高	343	277	620	198	275	473	(×) 144	(×) 2	(×) 147
	営業利益	3	35	31	5	6	12	(○) 9	(×) 28	(×) 20
	経常利益	3	35	31	5	6	12	(○) 9	(×) 28	(×) 20
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	250	400	650	232	354	586	(○) 18	(○) 46	(○) 64
	営業利益	15	20	35	17	32	49	(×) 2	(×) 12	(×) 14
	経常利益	34	36	70	37	52	89	(×) 3	(×) 16	(×) 19
セグメント間消去	売上高	185	105	290	142	179	321	(×) 43	(○) 74	(○) 31
合計	売上高	18,075	19,625	37,700	13,651	16,611	30,263	(○)4,424	(○)3,013	(○)7,437
	営業利益	755	375	1,130	634	810	1,444	() 121	(×) 436	(×) 314
	経常利益	1,156	694	1,850	831	1,056	1,887	() 325	(×) 362	(×) 37

・17年度は、新セグメントに組替えた。

(4) 18年度対17年度経常利益差異比較説明

	18年度	17年度	差異	経常利益差異説明
石油 ジャパンエナジー グループ	560	970	(×)410	在庫評価の影響(×)454 (17年度(+)509 18年度(+)55) 石化損益の改善()75 その他(×)31(送料コストの増他)
金属 日 鋳 金 属 グループ計	1,220	828	(○)392	
資源・金属 カンパニー グループ	1,071	682	(○)389	資源・金属カンパニー及び連結子会社(○)123 (レガリトプロシエ外関連費用の新規発生はあるが、金属価格上昇、買鋳条件改善等により増益) 持分法投資損益(○)266 (海外鋳山・製錬会社銅価上昇の影響： 2005年167¢/lb 2006年283¢/lb等)
電子材料 カンパニー グループ	96	96	(×) 1	圧延銅箔、ターゲット材の増販、電解銅箔のマージン改善等はあるが、コスト増、在庫評価損益の悪化等により前年並みの損益
金属加工 カンパニー グループ	84	62	(○)23	IT関連向け製品の増販、金属価格上昇等により()23億円の増益
(金属グループ調整)	31	12	(×)20	カンパニー間取引の未実現利益の排除及び在庫評価損益等
その他 独立・機能会社グループ	70	89	(×)19	独立・機能会社の減益等により(×)19億円の減益
合計	1,850	1,887	(×)37	

・17年度は、新セグメントに組替えた。

2. セグメント別情報

<1> 石油(ジャパンエナジーグループ)

(1) 業績予想

(単位：億円)

	18年度			17年度			増減		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
売上高	12,975	14,525	27,500	10,872	13,054	23,926	(○)2,102	()1,471	(○)3,574
営業利益	384	136	520	421	545	966	(×)37	(×)409	(×)446
経常利益	417	143	560	415	554	970	()2	(×)411	(×)410

(2) 燃料油伸び率

	一般販売数量(内需) (単位：千KL)			18年度 伸び率
	18年度	17年度	増減	当社
揮発油	6,100	6,188	(-)88	98.6%
ナフサ	3,610	3,747	(-)137	96.3%
シート	630	635	(-)5	99.5%
灯油	2,770	2,801	(-)31	98.7%
軽油	4,190	4,367	(-)177	96.0%
A重油	2,730	2,833	(-)103	96.5%
C重油	1,960	2,595	(-)636	75.5%
燃料油	21,990	23,166	(-)1,176	95.0%
自揮中間	15,790	16,189	(-)399	97.6%

(3) SS店舗数の推移

	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末	17/3末	18/3末	18/9末
社有SS (内切SS)	1,328	1,284 (105)	1,229 (227)	1,207 (264)	1,172 (297)	1,154 (347)	1,148 (372)
自己SS (内切SS)	3,318	3,192 (59)	3,067 (95)	2,943 (121)	2,851 (143)	2,679 (187)	2,614 (206)
SS計 (内切SS)	4,646	4,476 (164)	4,296 (322)	4,150 (385)	4,023 (440)	3,833 (534)	3,762 (578)

(4) 石化損益推移

(単位：億円)

18年度	17年度	16年度	15年度
230	155	245	85

< 2 > 金属(日鉱金属グループ)

業績予想

(億円)

		18年度 予想			17年度 実績			増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
金 日 鉱 金 属 グ ル ー プ 計	売上高	5,036	4,804	9,840	2,688	3,383	6,071	(○)2,348	(○)1,421	(○)3,769
	営業利益	356	219	575	196	234	430	() 160	(×) 14	(○) 145
	経常利益	705	515	1,220	379	450	828	(○) 326	(○) 65	(○) 392
資源・金属 カンパニー グループ	売上高	4,382	3,928	8,310	2,181	2,772	4,954	(○)2,200	(○)1,156	(○)3,356
	営業利益	249	159	408	127	144	271	(○) 123	(○) 15	(○) 138
	経常利益	601	470	1,071	315	367	682	(○) 286	() 103	(○) 389
電子材料 カンパニー グループ	売上高	646	794	1,440	474	589	1,063	(○) 172	(○) 205	(○) 377
	営業利益	57	60	117	51	61	112	() 6	(×) 1	() 5
	経常利益	51	45	96	43	53	96	() 7	(×) 8	(×) 1
金属加工 カンパニー グループ	売上高	351	359	710	231	296	528	(○) 120	() 63	(○) 182
	営業利益	46	35	81	24	35	59	(○) 22	-	(○) 22
	経常利益	49	35	84	26	36	62	(○) 24	(×) 1	(○) 23
(金属グループ 調整)	売上高	343	277	620	198	275	473	(×) 144	(×) 2	(×) 147
	営業利益	3	35	31	5	6	12	(○) 9	(×) 28	(×) 20
	経常利益	3	35	31	5	6	12	(○) 9	(×) 28	(×) 20

・17年度は、新セグメントに組替えた。

< 2 - > 資源・金属カンパニーグループ

(1) 業績予想

(単位 : 億円)

	18年度			17年度			増減		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
売上高	4,382	3,928	8,310	2,181	2,772	4,954	(○)2,200	(○)1,156	(○)3,356
営業利益	249	159	408	127	144	271	(○) 123	(○) 15	(○) 138
経常利益	601	470	1,071	315	367	682	(○) 286	(○) 103	(○) 389

(2) 価格・販売量

		18年度			17年度		
		上期	下期		上期	下期	
価格	銅価 (¢ / lb)	338	290	314	162	210	186
	金 (\$ / TOZ)	625	550	588	433	520	477
	白金 (\$ / TOZ)	1,200	1,100	1,150	883	998	940
	パラジウム (\$ / TOZ)	335	300	318	189	265	227
販売量	電気銅 (千 t)	308	320	628	302	287	588

< 2 - > 電子材料カンパニーグループ

(1) 業績予想

(単位 : 億円)

	18年度			17年度			増減		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
売上高	646	794	1,440	474	589	1,063	(○)172	(○)205	(○)377
営業利益	57	60	117	51	61	112	(○) 6	(×) 1	(○) 5
経常利益	51	45	96	43	53	96	(○) 7	(×) 8	(×) 1

(2) 電子材料製品別内訳

(単位 : 億円)

		18年度			17年度			増減		
		上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
銅箔	売上高	245	305	550	174	222	396	(○) 71	(○) 83	(○)154
	営業利益	33	32	65	5	12	7	(○) 38	(○) 20	(○) 58
ターゲット	売上高	321	412	733	244	304	548	(○) 77	(○)108	(○)185
	営業利益	26	38	64	60	56	116	(×) 34	(×) 18	(×) 52
化合物 半導体他	売上高	80	77	157	56	63	119	(○) 24	(○) 14	(○) 38
	営業利益	2	10	12	4	7	11	(○) 2	(×) 3	(×) 1
合計	売上高	646	794	1,440	474	589	1,063	(○)172	(○)205	(○)377
	営業利益	57	60	117	51	61	112	(○) 6	(×) 1	(○) 5

(注) 18年度から共通コストの配賦基準を変更しており , 17年度実績についても基準変更後の数値で表示している。

< 2 - > 金属加工カンパニーグループ

(1) 業績

(単位 : 億円)

	18年度			17年度			増減		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
売上高	351	359	710	231	296	528	(○)120	()63	(○)182
営業利益	46	35	81	24	35	59	(○)22	-	(○)22
経常利益	49	35	84	26	36	62	(○)24	(×)1	(○)23

(2) 製品別売上高

(単位 : 億円)

		18年度			17年度			増減		
		上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
伸銅品	りん青銅	123	107	230	67	86	153	○56	○21	○77
	コルソン合金	39	41	80	30	38	68	○9	○3	○12
	圧延銅箔	39	36	75	24	41	65	○15	×5	○10
	その他伸銅品	67	75	142	42	54	96	○25	○21	○46
特殊鋼品	ステンレス製品	11	9	20	9	11	20	○2	×2	-
	高ニッケル合金	25	26	51	16	24	40	○9	○2	○11
	その他特殊鋼	1	1	2	2	1	3	×1	-	×1
	精密加工品	63	69	132	44	46	91	○19	○23	○42
	内部取引等	17	5	22	3	5	8	×14	-	×14
	合計	351	359	710	231	296	528	○120	○63	○182

3. 前回発表との差

<1>18/上期予想差

(1)前提条件

			18年度上期		
			今回実績	前回(10/4)	差異
共通		為替レート(円/\$)	115	115	-
石油 ジャパンエナジー グループ		原油FOB(\$/BBL)*	65.4	65.6	(-) 0.2
		パナシヤ市況(\$/t)ACP(実勢)	1,133	1,135	(-) 2
金属・ 日鉱金属 グループ	資源・金属 カンパニー グループ	銅価(¢/lb)	338	337	(+) 1
		電気銅販売量(千t/期・年)	308	307	(+) 1
電子材料 カンパニー グループ		電解銅箔販売量(t/月)	2,038	2,040	(-) 2
		圧延銅箔販売量(千m/月)	3,613	3,630	(-) 17
		ITOターゲット販売量(t/月)	25.9	25.5	(+) 0.4
金属加工 カンパニー グループ		伸銅品生産品販売量(千t/期)	20.0	19.8	(+) 0.2
		特殊鋼生産品販売量(千t/期)	2.5	2.6	(-) 0.1
		高機能材比率(%)	42%	42%	-

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

(2)業績予想

(単位:億円)

	18年度上期		差異
	今回実績	前回(10/4)	
売上高	18,075	18,000	(○) 75
営業利益	755	670	(○) 85
経常利益	1,156	1,050	(○) 106
当期純利益	725	650	(○) 75
売上高経常利益率	6.4%	5.8%	(○)0.6%

(3)セグメント別業績予想

(単位：億円)

		18年度上期		
		今回実績	前回(10/4)	差異
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	12,975	12,800	(○) 175
	営業利益	384	340	() 44
	経常利益	417	360	() 57
金属 日鉱金属 グループ	売上高	5,036	5,080	(×) 44
	営業利益	356	320	(○) 36
	経常利益	705	660	(○) 45
資源・金属 カンパニー グループ	売上高	4,382	4,410	(×) 28
	営業利益	249	225	(○) 24
	経常利益	601	565	(○) 36
電子材料 カンパニー グループ	売上高	646	640	() 6
	営業利益	57	50	() 7
	経常利益	51	45	() 6
金属加工 カンパニー グループ	売上高	351	350	(○) 1
	営業利益	46	40	() 6
	経常利益	49	45	() 4
(金属グループ 調整)	売上高	343	320	(×) 23
	営業利益	3	5	(×) 2
	経常利益	3	5	(×) 2
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	250	250	-
	営業利益	15	10	() 5
	経常利益	34	30	() 4
セグメント間消去	売上高	185	130	(×) 55
合計	売上高	18,075	18,000	(○) 75
	営業利益	755	670	(○) 85
	経常利益	1,156	1,050	(○) 106

(4) 18 年度上期経常利益差異比較説明

(単位 : 億円)

	今回 実績	前回 (10/4)	差異	経常利益差異説明
石油 ジャパンエナジー グループ	417	360	() 57	在庫評価益(×)8(前回:235 今回:227) 石化損益の悪化(×)1 その他()66(経費支出の期ずれ, タイマガ 他)
金属 日 鋳 金 属 グループ計	705	660	(○) 45	
資源・金属 カンパニー グループ	601	565	(○) 36	マージン及び諸コスト改善等により (○)36 億円の増益
電子材料 カンパニー グループ	51	45	() 6	半導体ターゲットの増販,コスト減等により (○)6 億円の増益
金属加工 カンパニー グループ	49	45	() 4	IT 関連向け製品の増販、金属価格上昇等により、()4 億円の増益。
(金属グループ 調整)	3	5	(×) 2	
その他 独立・機能会社グループ	34	30	() 4	
合計	1,156	1,050	(○)106	

<2>18年度予想差

(1)前提条件

		18年度			
		今回予想	前回予想 (10/4)	差異	
共	通	為替レート(円/\$)	113	113	-
石	油	原油FOB(\$/BBL)*	62.7	62.8	(-)0.1
		プラチナ市況(\$/t)ACP(実勢)	1,112	1,110	(+) 2
金属	資源・金属	銅価(¢/lb)	314	314	-
		電気銅販売量(千t/期・年)	628	627	(+) 1
日	電子材料	電解銅箔販売量(t/月)	2,095	2,095	-
		圧延銅箔販売量(千m/月)	4,057	4,065	(-) 8
		ITOターゲット販売量(t/月)	33.2	33.0	(+)0.2
金属	加工	伸銅品生産品販売量(千t/期)	39.7	39.5	(+)0.2
		特殊鋼生産品販売量(千t/期)	4.6	4.7	(-)0.1
		高機能材比率(%)	43%	43%	-

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

(2)業績予想

(単位:億円)

	18年度		差異
	今回予想	前回予想(10/4)	
売上高	37,700	37,700	-
営業利益	1,130	1,130	-
経常利益	1,850	1,850	-
当期純利益	1,100	1,100	-
売上高経常利益率	4.9%	4.9%	-
1株当たり当期利益 円/株	118.7	118.7	-
(株数:千株)	(926,994千株)	(926,994千株)	-

(3)セグメント別業績予想

(単位：億円)

		18年度		
		今回予想	前回予想(10/4)	差異
石油 ジャパンエナジー グループ	売上高	27,500	27,500	-
	営業利益	520	520	-
	経常利益	560	560	-
金 日 鋳 金 属 グループ 計	売上高	9,840	9,840	-
	営業利益	575	575	-
	経常利益	1,220	1,220	-
資源・金属 カンパニー グループ	売上高	8,310	8,310	-
	営業利益	408	375	(○)33
	経常利益	1,071	1,035	(○)36
電子材料 カンパニー グループ	売上高	1,440	1,440	-
	営業利益	117	110	() 7
	経常利益	96	90	() 6
金属加工 カンパニー グループ	売上高	710	710	-
	営業利益	81	75	() 6
	経常利益	84	80	() 4
(金属グループ 調整)	売上高	620	620	-
	営業利益	31	15	(×)46
	経常利益	31	15	(×)46
その他 独立・機能会社 グループ	売上高	650	650	-
	営業利益	35	35	-
	経常利益	70	70	-
セグメント間消去	売上高	290	290	-
合 計	売上高	37,700	37,700	-
	営業利益	1,130	1,130	-
	経常利益	1,850	1,850	-

(4) 18 年度経常利益差異比較説明

(単位 : 億円)

	今回 実績	前回 (10/4)	差異	経常利益差異説明
石油 ジャパンエナジー グループ	560	560	-	在庫評価益(×)40(前回:95 今回:55) その他()40(上期業績の改善)
金属 日 鋳 金 属 グループ計	1,220	1,220	-	
資源・金属 カンパニー グループ	1,071	1,035	(○)36	マージン及び諸コスト改善等により (○)36 億円の増益
電子材料 カンパニー グループ	96	90	(○) 6	半導体ターゲットの増販,コスト減等により (○)6 億円の増益
金属加工 カンパニー グループ	84	80	(○) 4	IT関連向け製品の増販,金属価格上昇等により, () 4 億円の増益
(金属グループ 調整)	31	15	(×) 46	カンパニー間取引の未実現利益の排除及び在庫 評価損益等
その他 独立・機能会社グループ	70	70	-	
合計	1,850	1,850	-	

連結バランスシート、キャッシュ・フロー、指標等

1. 連結バランスシート

(単位：億円)

	18/9 末	18/3 末	18 年度 上期増減	19/3 末(予想)	18 年度増減 (予想)
流動資産	10,469	9,064	(+) 1,405		
固定資産	9,967	9,532	(+) 435		
総資産	20,436	18,596	(+) 1,840	20,840	(+) 2,244
流動負債	9,817	9,210	(+) 606		
固定負債	4,045	4,251	(-) 205		
負債の部	13,862	13,461	(+) 401	13,960	(+) 499
純資産の部	6,574	5,135	(+) 1,439	6,880	(+) 1,745
株主資本及び評価換算差額等	5,908	4,675	(+) 1,234	6,160	(+) 1,485
少数株主持分他	666	460	(+) 205	720	(+) 260
自己資本比率	28.9%	25.1%	(+) 3.8%	29.5%	(+) 4.4%
1株当たり自己資本	637 円 37 銭	551 円 36 銭	(+) 86 円 01 銭	664 円 51 銭	(+) 113 円 15 銭
有利子負債	7,326	6,847	(+) 479	7,610	(+) 763

(注1) 18/3 末については、18/9 末との比較のため、新会計基準による表示に組み替え。

(注2) 自己資本比率及び1株当たり自己資本計算対象の自己資本額は、「上表」株主資本及び評価換算差額等」。

主な項目の18年度上期増減要因

資産 (+) 1,840	現金及び現金同等物 (-) 32、 売掛債権・たな卸資産 (+) 1,325 (三井銅事業譲受分除き)、 設備投資 (+) 350、減価償却 (-) 243、 投融資支出 (+) 385 (三井銅製錬事業譲受支出 223 含み)、 持分法投資利益・配当差額 (+) 20、 有価証券評価差額 (-) 83、その他 (連結範囲の変更等) (+) 118
負債 (+) 401	有利子負債 (+) 479 (うち新規連結による増加額 (+) 137)、 未払法人税等 (-) 76 他
純資産の部 (+) 1,439	増資 (+) 677、当期純利益 (+) 725、配当金支払 (-) 127、 その他有価証券評価差額金 (-) 49、為替換算調整勘定 (-) 5、 少数株主持分他 (+) 218

主な項目の18年度増減(予想)要因

資産 (+) 2,244	売掛債権・たな卸資産 (+) 1,180 (三井銅事業譲受分除き)、 設備投資 (+) 990、減価償却 (-) 520、 投融資支出 (+) 420 (三井銅事業譲受支出含み)、 持分法投資利益・配当差額 (+) 320、 その他 (-) 146
負債 (+) 499	有利子負債 (+) 763、その他 (-) 264
純資産の部 (+) 1,745	増資 (+) 677、当期純利益 (+) 1,100、配当金支払 (-) 201、 少数株主持分他 (+) 169

2. 連結キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	17/上 実績	18/上 実績	17年度 実績	18年度 予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	(+) 96	(-) 428	(+) 243	(-) 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	(-) 119	(-) 533	(-) 376	(-) 1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	(-) 29	(+) 927	(+) 120	(+) 1,140
為替換算差額	(+) 8	(-) 3	(+) 16	-
現金及び現金同等物の増減額	(-) 44	(-) 37	(+) 2	(-) 30

18/上実績の内訳

営業活動によるキャッシュ・フロー (-) 428

経常利益 (+) 1,156、減価償却費 (+) 243、
持分法投資利益 (-) 413、持分法会社からの配当 (+) 394、
売上債権・たな卸資産・仕入債務 (-) 1,205、法人税等支払他 (-) 603

投資活動によるキャッシュ・フロー (-) 533

設備投資支出 (-) 339、投融資支出 (-) 385、投融資回収 (+) 180、
有形固定資産売却他 (+) 11

財務活動によるキャッシュ・フロー (+) 927

増資 (+) 677、有利子負債借入 (+) 342、配当金支払 (-) 127、
少数株主への配当支払 (-) 112、少数株主からの増資払込他 (+) 147

18年度予想の内訳

営業活動によるキャッシュ・フロー (-) 40

経常利益 (+) 1,850、減価償却費 (+) 520、持分法投資利益 (-) 800、
持分法会社からの配当 (+) 480、売上債権・たな卸資産・仕入債務 (-) 1,050、
法人税等支払他 (-) 1,040

投資活動によるキャッシュ・フロー (-) 1,130

設備投資支出 (-) 990、投融資支出 (-) 420、投融資回収 (+) 250、
有形固定資産売却他 (+) 30

財務活動によるキャッシュ・フロー (+) 1,140

増資 (+) 677、有利子負債借入 (+) 626、配当金支払 (-) 201、
少数株主への配当支払 (-) 140、少数株主からの増資払込他 (+) 178

3. 配当金

17年度(実績)				18年度(予想)			
中間	期末	年間	配当金総額	中間	期末	年間	配当金総額
円 銭	円 銭	円 銭	百万円	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
-	15 00	15 00	12,715	8 00	8 00	16 00	14,843

(注) 18年度予想配当金総額は、18/9発行済株式数(個別)927,664千株で算出

4. 連結有利子負債残高の推移

(18年度は17年度に対し一部組織のセグメント異動を行っており、18/3末実績はそれに対応した組替後。)

(単位：億円)

	18/9末	18/3末	対18/3増減
石 油 (ジャパンエナジーグループ)	4,576	4,301	(+) 274
金 属 (日鉱金属グループ)	3,194	2,837	(+) 357
そ の 他 (独立・機能会社グループ)	444	291	(-) 153
計	7,326	6,847	(+) 479

(注) 消去又は全社分はその他に含む。

5. DEレシオ推移

(単位：億円)

	14/3 末	17/3 末	18/3 末	18/9 末	対 18/3 末増減	19/3 末予想
有利子負債	8,928	6,438	6,847	7,326	(+) 479	7,610
自己資本	1,815	3,534	4,675	5,908	(+)1,234	6,160
DEレシオ(倍)	4.92	1.82	1.46	1.24	(-) 0.22	1.24

6. 連結ベース設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

(18年度は17年度に対し一部組織のセグメント異動を行っており,17年度実績はそれに対応した組替後。)

	18/上実績	18年度予想	17年度
設備投資額	350	990	577
減価償却費	243	520	449
差引	(+) 107	(+) 470	(+) 128

セグメント別設備投資額内訳

	18/上実績	18年度予想	17年度
石油 (ジャパンエナジーグループ)	187	550	345
金属 (日鉱金属グループ)	159	430	223
資源・金属カンパニーグループ	84	190	115
電子材料カンパニーグループ	39	160	60
金属加工カンパニーグループ	36	80	48
その他 (独立・機能会社グループ)	5	10	9
計	350	990	577

(注) 消去又は全社分はその他に含む。

セグメント別減価償却費内訳

	18/上実績	18年度予想	17年度
石油 (ジャパンエナジーグループ)	142	290	301
金属 (日鉱金属グループ)	98	220	144
資源・金属カンパニーグループ	61	140	67
電子材料カンパニーグループ	22	50	51
金属加工カンパニーグループ	15	30	26
その他 (独立・機能会社グループ)	3	10	5
計	243	520	449

(注) 消去又は全社分はその他に含む。

7. セグメント別連結人員の推移

(単位：人)

(18年度は17年度に対し一部組織のセグメント異動を行っており,各期末ともそれに対応した組替後。)

	16/3 末	17/3 末	18/3 末	18/9 末
石油 (ジャパンエナジーグループ)	3,982	3,873	3,920	3,968
金属 (日鉱金属グループ)	4,242	4,120	4,348	4,662
資源・金属カンパニーグループ	1,471	1,447	1,553	1,695
電子材料カンパニーグループ	1,622	1,512	1,373	1,437
金属加工カンパニーグループ	1,149	1,161	1,422	1,530
その他 (独立・機能会社グループ)	1,634	1,281	1,311	1,314
計	9,858	9,274	9,579	9,944

(注) 当社分はその他に含む。

18年度中間期 セグメント別経常利益

～ 対前年同期比較 ～



(金額単位：億円)

	18年度中間期実績			17年度中間期実績			対前年同期差異		
	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計
石油	227	190	417	274	142	415	(x) 46	(o) 48	(o) 2
石油精製・販売		8	8		11	11		(x) 4	(x) 4
石油開発		68	68		41	41		(o) 27	(o) 27
石化		114	114		89	89		(o) 24	(o) 24
在庫評価損益	227		227	274		274	(x) 46		(x) 46
金属	2	702	705	41	337	379	(x) 39	(o) 365	(o) 326
資源金属		601	601		315	315		(o) 286	(o) 286
連結子会社等		243	243		118	118		(o) 125	(o) 125
持分法投資利益		358	358		197	197		(o) 162	(o) 162
電子材料	2	48	51	41	2	43	(x) 39	(o) 46	(o) 7
金属加工		49	49		26	26		(o) 24	(o) 24
金属調整	-	3	3	-	5	5	-	(o) 9	(o) 9
独立機能会社・全社消去他		34	34		37	37		(x) 3	(x) 3
経常利益合計	230	926	1,156	315	516	831	(x) 85	(o) 410	(o) 325
連結子会社等	230	513	743	315	285	600	(x) 85	(o) 228	(o) 143
持分法投資利益		413	413		231	231	-	(o) 182	(o) 182

18年度通期予想 セグメント別経常利益

～ 対前年実績比較 ～



(金額単位：億円)

	18年度予想			17年度実績			対前年差異		
	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計	在庫評価 損益	在庫評価 損益除き	計
石油	55	505	560	509	461	970	(x) 454	(o) 45	(x) 410
石油精製・販売		130	130		193	193		(x) 63	(x) 63
石油開発		145	145		112	112		(o) 33	(o) 33
石化		230	230		155	155		(o) 75	(o) 75
在庫評価損益	55		55	509		509	(x) 454		(x) 454
金属	55	1,275	1,220	70	758	828	(x) 125	(o) 517	(o) 392
資源金属		1,071	1,071		682	682		(o) 389	(o) 389
連結子会社等 持分法投資利益		373	373		250	250		(o) 123	(o) 123
		698	698		432	432		(o) 266	(o) 266
電子材料	10	106	96	70	26	96	(x) 80	(o) 80	(x) 0
金属加工		84	84		62	62		(o) 22	(o) 22
金属調整	45	14	31	-	12	12	(x) 45	(o) 26	(x) 19
独立機能会社・全社消去他		70	70		89	89		(x) 19	(x) 19
経常利益合計	-	1,850	1,850	579	1,308	1,887	(x) 579	(o) 542	(x) 37
連結子会社等 持分法投資利益	-	1,050	1,050	579	798	1,377	(x) 579	(o) 252	(x) 327
		800	800		510	510	-	(o) 290	(o) 290

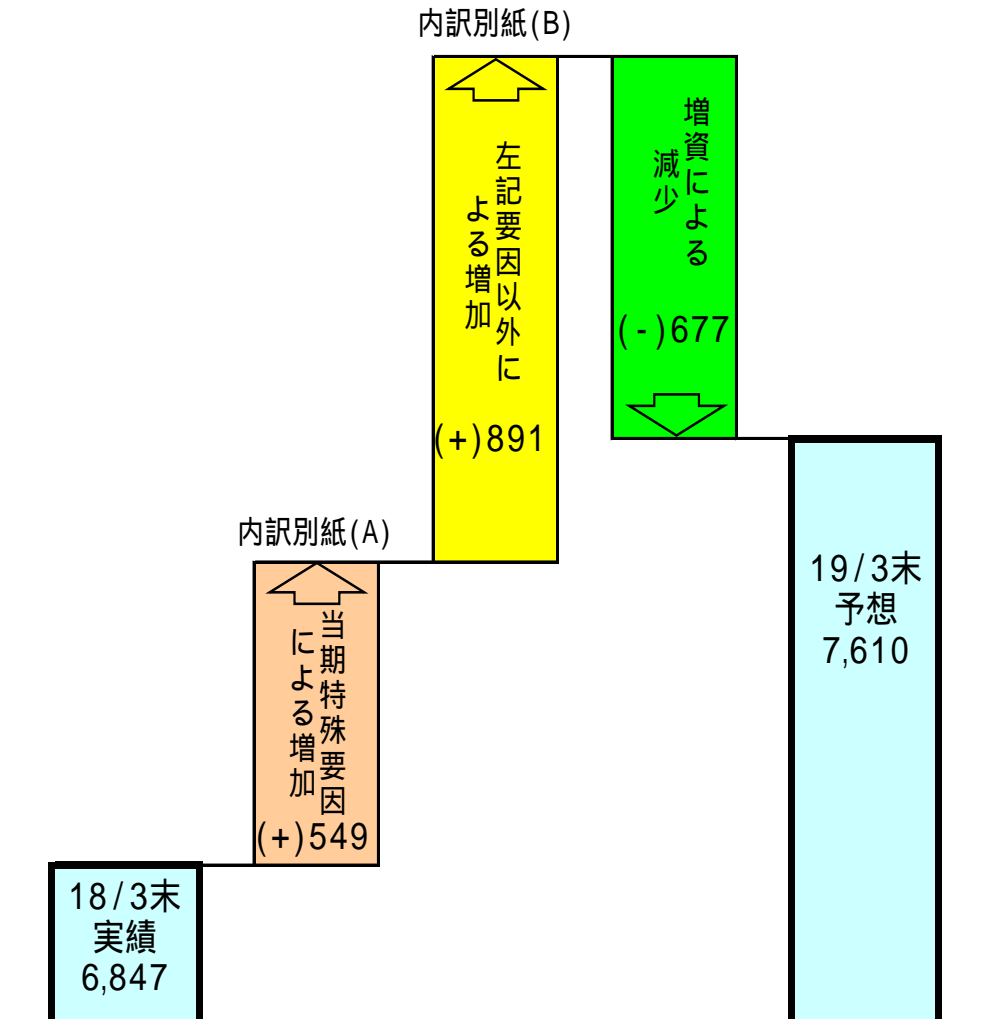


連結有利子負債増減要因

～ 19/3末予想対18/3末実績 ～

(単位：億円)

	18/3末 実績	特殊 要因	左記 以外	増資	19/3末 予想
有利子負債額	6,847	(+)549	(+)891	(-)677	7,610
営業C/F		320	280		40
投資C/F		223	907		1,130
配当等			334		334
フリーC/F		543	961	-	1,504
キャッシュ増減			30		30
増資等		131	40	677	848
C/F有利子負債返済額(は借入)		412	891	677	626
新規連結期首		137	-		137
有利子負債増減額		(+)549	(+)891	(-)677	(+)763



会社説明会

平成18年11月10日



新日鉱ホールディングス

将来に関する記述等についてのご注意

- 当説明会資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれております。将来の見通しに関する記述には、様々な既知および未知のリスク、不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。当社は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。
- 将来の見通しに影響を与える潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」の項に記載されております。有価証券報告書は、当社ホームページから入手することができます。なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらのみ限定されるものではありませんのでご注意ください。



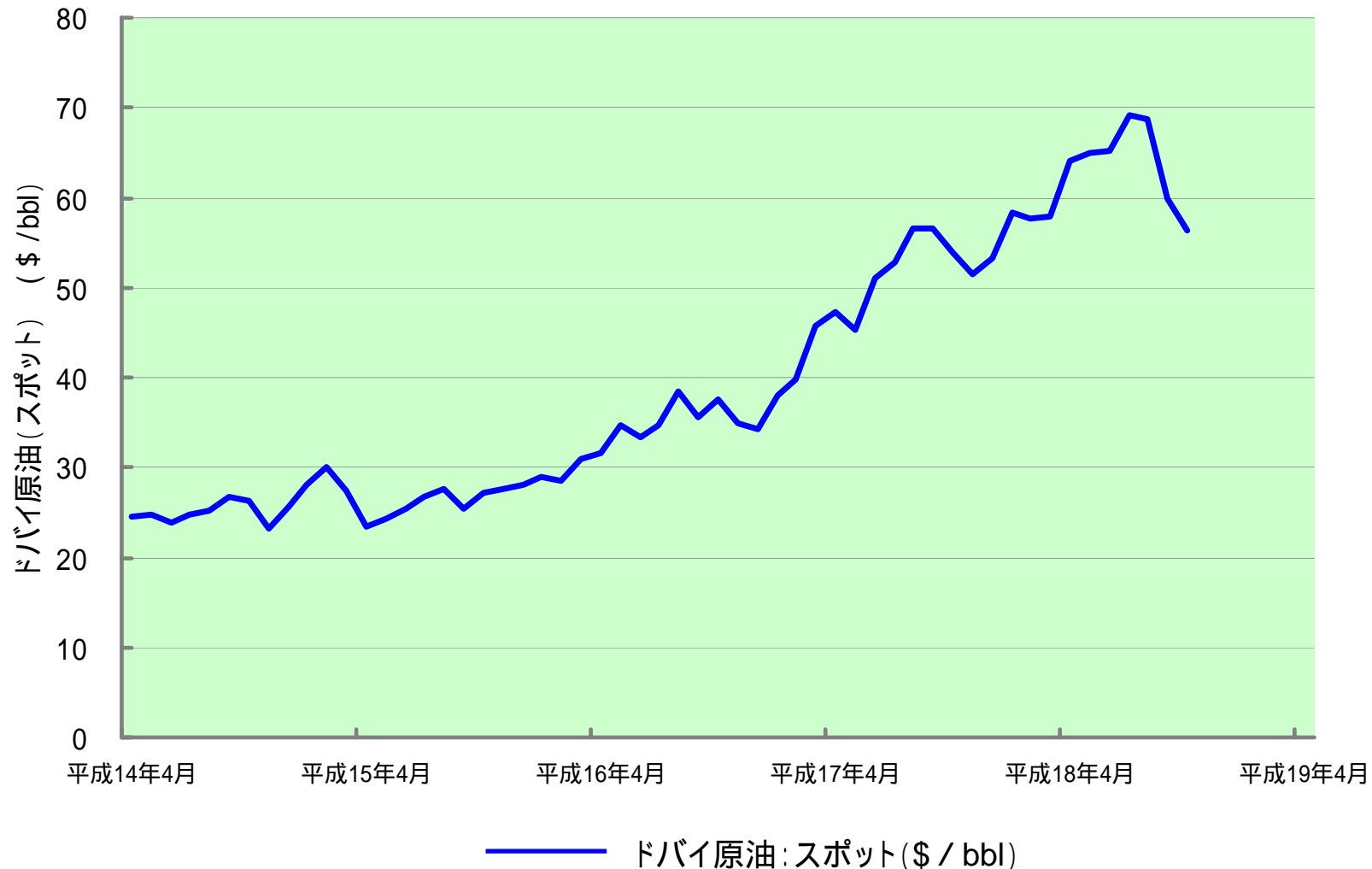
資源・素材・エネルギー分野での
需要・価格面での世界的なうねりは継続

- BRICs諸国の需要拡大
- 地政学上のリスク等

事業環境（原油価格）



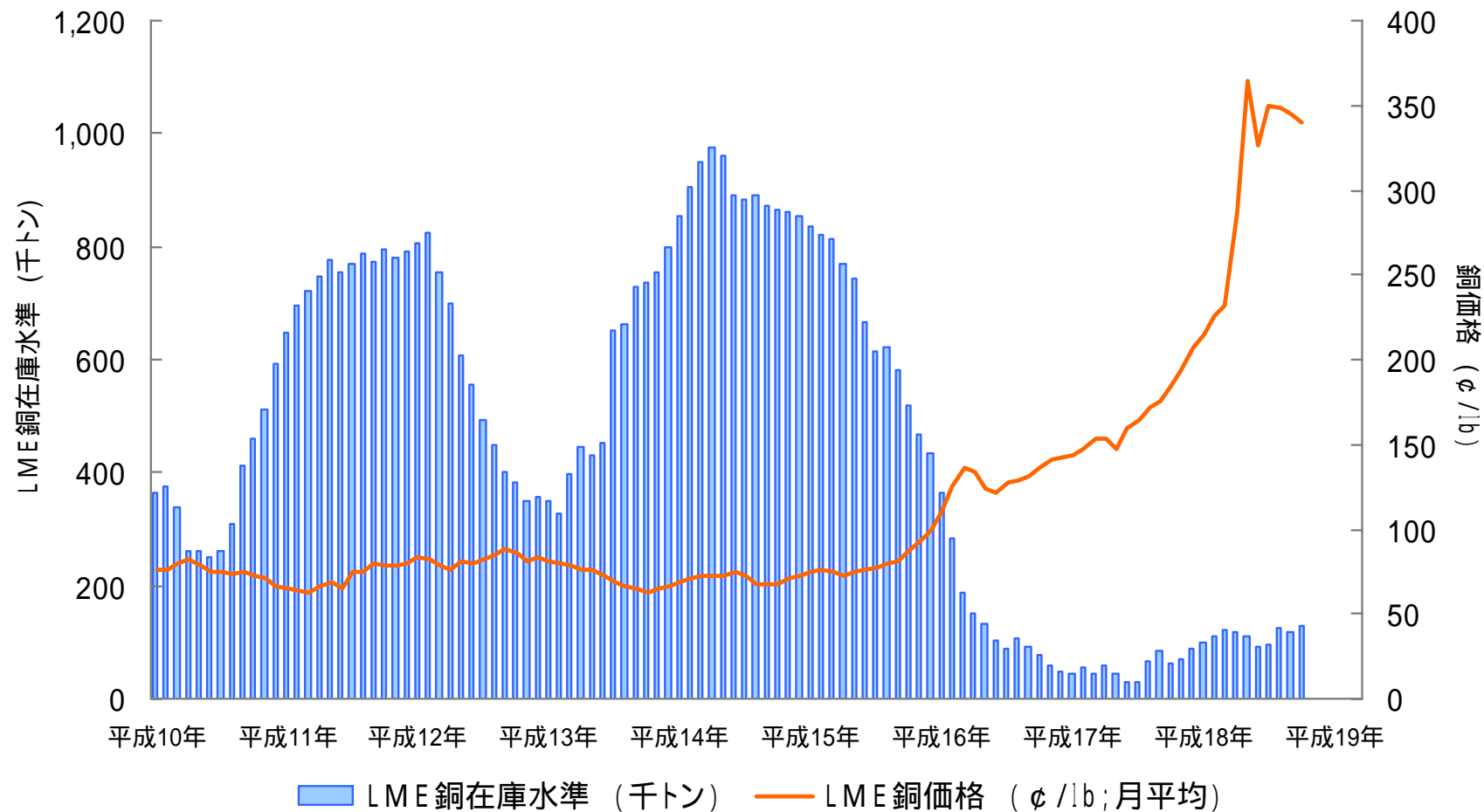
米国の景気減速を背景に一時的な下落はあるものの、原油価格は引き続き高水準で推移



事業環境（銅価格）



LME銅価格は高水準で推移、在庫水準は低いレベル



注：銅価格は現物価格
出典：LME（ロンドン金属取引所）

事業環境（IT関連）



携帯電話・フラットパネルディスプレイ

一時的な需給調整であるものの
回復基調に向かう

主要前提条件 平成18年度



		平成18年度			平成17年度 実績	
		上期 (実績)	下期 (見通し)	通期 (見通し)	上期	通期
共通	為替レート(円/\$)	115	110	113	109	113
石油グループ	原油FOB(\$/BBL)*1	65.4	60.0	62.7	51.6	53.5
	パラキシレン市況(\$/t)*2	1,133	1,090	1,112	859	903
金属グループ (資源・金属)	銅価(¢/lb)	338	290	314	162	186
	電気銅販売量(千t/期)	308	320	628	302	588
(電子材料)	電解銅箔販売量(t/月)	2,038	2,151	2,095	2,097	2,080
	圧延銅箔販売量(千m/月)	3,613	4,500	4,057	3,021	3,794
(金属加工)	ITOターゲット販売量(t/月)	25.9	40.5	33.2	24.2	26.1
	伸銅品生産品販売量(千t/期)	20.0	19.7	39.7	16.8	36.4
	特殊鋼生産品販売量(千t/期)	2.5	2.1	4.6	1.9	4.4
	高機能材比率(%)	42%	44%	43%	41%	43%

*1 ドバイスポットベース

*2 ACP(実勢)

中間連結業績 平成18年度中間



中間期では過去最高益を計上

単位：億円

	平成18年度 中間連結業績 (A)	平成17年度 中間連結業績 (B)	増減率 (A / B)
売上高	18,075	13,651	+ 32%
営業利益	755	634	+ 19%
経常利益	1,156	831	+ 39%
〔うち在庫評価損益〕	〔229〕	〔315〕	-
石油グループ	417	415	+ 0%
〔うち在庫評価損益〕	〔227〕	〔274〕	-
金属グループ	705	379	+ 86%
〔うち在庫評価損益〕	〔2〕	〔41〕	-
資源・金属	601	315	+ 91%
電子材料	51	43	+ 17%
金属加工	49	26	+ 92%
金属調整	3	5	-
その他	34	37	- 8%
当期純利益	725	525	+ 38%

通期連結業績 平成18年度通期



当期純利益では初めて1千億円台を達成へ

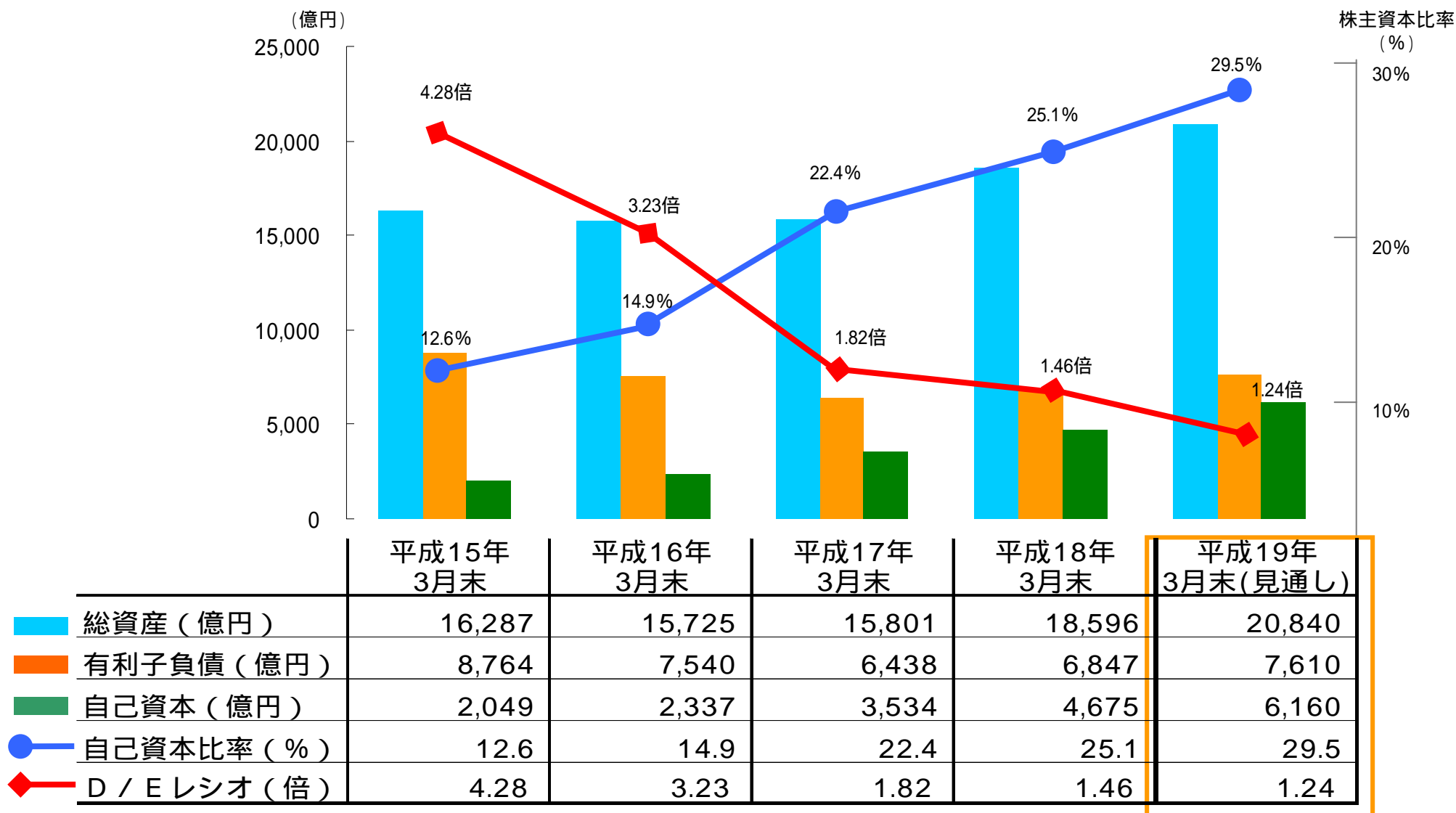
単位：億円

	平成18年度 通期連結業績見通し <2006年11月9日発表> (A)	平成17年度 通期連結業績 (B)	増減率 (A / B)
売上高	37,700	30,263	+ 25%
営業利益	1,130	1,444	- 22%
経常利益	1,850	1,887	- 2%
〔うち在庫評価損益〕	〔0〕	〔579〕	-
石油グループ	560	970	- 42%
〔うち在庫評価損益〕	〔55〕	〔509〕	-
金属グループ	1,220	828	+ 47%
〔うち在庫評価損益〕	〔 55〕	〔70〕	-
資源・金属	1,071	682	+ 57%
電子材料	96	96	- 1%
金属加工	84	62	+ 36%
金属調整	31	12	-
その他	70	89	- 21%
当期純利益	1,100	969	+ 14%

財務体質の改善



平成18年度末に自己資本比率30%、D / E レシオ1.2倍レベルへ

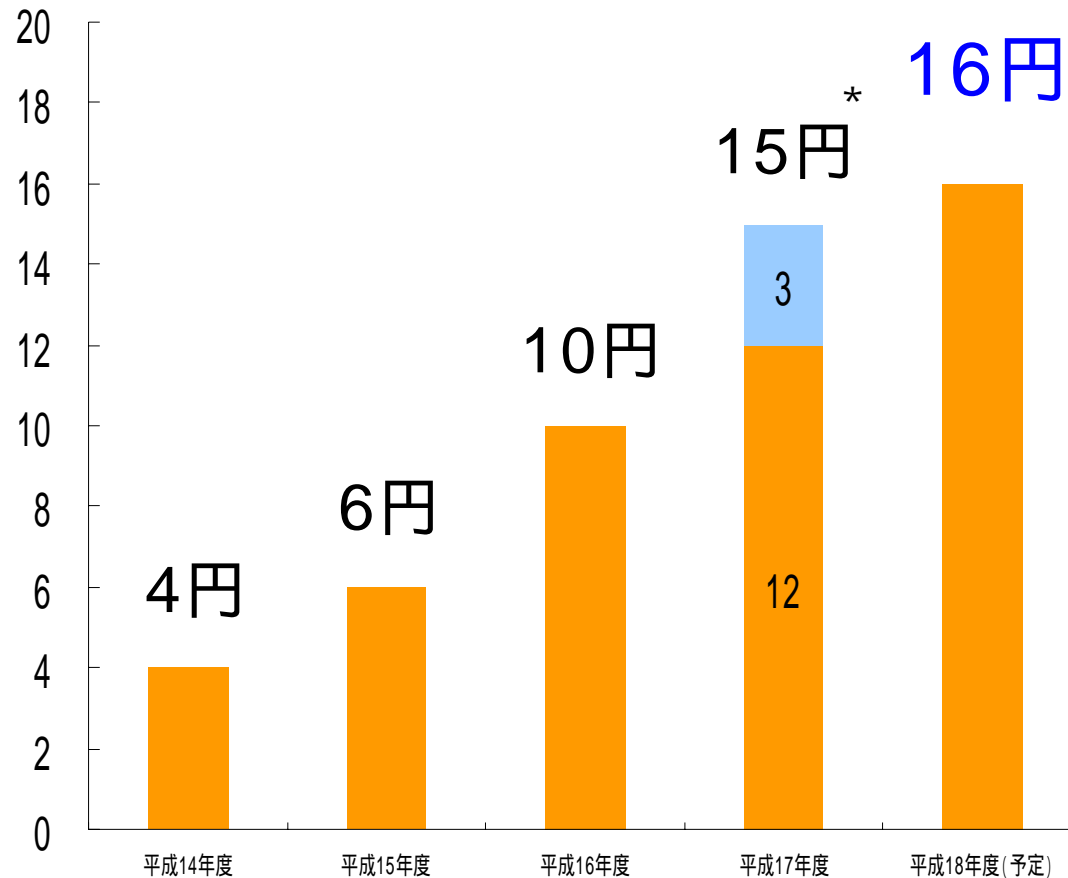


配当金の推移



1株当たり配当金を年16円へ（普通配当では年4円増配）

1株当たり配当額の推移



* 平成17年度の年間配当金15円には、創業100周年記念配当3円を含む。

配当の基本的な考え方

1. 収益水準
2. 市況により大きな変動を受けやすい事業特性
3. 安定的な配当の継続

などを総合的に勘案

設備投資・投融資計画



3力年で3,500億円のうち2,450億円を成長戦略に投じる計画を推進

	平成18 - 20年度	平成18年度見通し
1. 成長分野への展開	1,400億円	560億円
石油化学製品生産設備 海外銅鉱山開発 IT関連製品 リサイクル事業その他		
2. 既存事業の競争力向上	1,050億円	425億円
石油事業 / 金属事業		
3. 環境および維持	1,050億円	425億円
合 計	3,500億円	1,410億円
減価償却	1,690億円	520億円



- ◆ 中長期的には内需減退が見込まれ、
厳しい経営環境
- ◆ 製品マージンの水準底上げと安定化
- ◆ 鹿島アロマプロジェクトの円滑な推進
06年9月着工 / 07年9月完成 / 08年1月本格稼働
- ◆ 新日本石油との提携効果の実現
水島地区での一体的操業
燃料電池の開発ほか

金属事業の課題



- ◆ 金属系 3 社統合と P P C による銅事業集約により銅を中心に非鉄一貫体制を構築
- ◆ 非鉄メジャーとの買鉱条件の悪化への対応
 - ◆ レガリートに続く自主開発鉱山の探索
 - ◆ 電子材料・金属加工の高機能・高付加価値化
 - ◆ 自動車向け進出と中国展開の推進



- ◆ エネルギーと金属事業分野で
グループシナジーの発揮
- ◆ 分散エネルギー分野
太陽光発電用途ポリシリコンの開発検討

次なる成長・発展に向けて



- ◆ 中計方針である
 - 「成長戦略への積極的な取り組み」
 - 「財務体質のさらなる強化」を同時に追求

経営基盤・収益基盤を一段と強化

10年程度の将来を睨んだ長期ビジョン、すなわちあるべき事業構造やそれを実現する収益レベルを検討

新日鉱グループとしてのトータルベスト Profit Maxを目指す

